

医師として広島県を
“えっと”楽しむマガジン

#009

2017 Autumn

【 えっと 】

広島県

ETTO

医師として広島県を
“えっと”楽しむマガジン

ETTO

【 えっと 】

2017 Autumn

#009 広島県地域医療支援センター (公益財団法人 広島県地域保健医療推進機構)



特集

臨床研修の病院を訪ねて 学びの場 in 広島



広島県地域医療支援センター
(公益財団法人 広島県地域保健医療推進機構)

が発行する、

医学生・研修医・若手医師に
広島県の医療をPRするための
広報冊子です。

今号は広島県で研修を受ける
研修医と研修を支える病院の体制等、
3つの地域の病院に密着して
それぞれが目指す学びの場を
特集します。

高度医療から地域医療まで充実した 広島で臨床研修をしませんか



広島県には24の臨床研修病院があり、環境も病院規模も様々です。
多彩な臨床研修病院が提供するプログラムは、
必ずやあなたのニーズにマッチした研修を提供してくれることでしょう。

臨床研修病院合同説明会 (レジナビフェア) などへの出展



広島県では、できるだけ多くの研修医に
県内で臨床研修をしていただきたいと願っ
ています。
県内の臨床研修病院が共同で、合同説
明会「レジナビフェア」などに出席し、お揃い
の真っ赤なベストで医学生の皆さんをお迎
えています。
充実した臨床研修を受けられる広島
にぜひお越しください。

若手・女性・ベテランの 活躍支援



県内で活躍する医師のために様々な
支援を行っています。
若手医師への医療機関横断的な研
修支援、女性医師が働きやすい勤務環
境整備・復職研修支援・子育て支援、
定年勤務医等への求職支援など、やり
がいをもって活躍できる環境づくりを進
めています。

広島県での就業支援



広島県での就業をお考えの医師の方
に、無料の職業紹介事業の許可を得
て、UIJターンの支援をしています。
ウェブでの求人情報の提供のほか、
個別のご相談にも対応しています。
具体的な時期が決まっていなくても構
いません。お気軽にご相談ください。

暮らしやすく楽しめる広島

広島県は、「日本の縮図」といわれているように、経済・社会・文化・商業・工業の様々な要素をもち、「都市」としての機能を有しながら、「自然(海・山)」も豊か。最近ではサイクリストの聖地として「しまなみ海道」に来られる方も増えています。さらに全国・県内移動のアクセスに優れているのも特徴。どんな人にも住みやすく、自分らしく自由に暮らすことができる、贅沢な地なのです。



地域医療への扉

ふるさとドクターネット広島

広島県地域医療支援センター(公益財団法人 広島県地域保健医療推進機構)

<http://www.dn-hiroshima.jp>



広島県地域医療支援センターは、広島県・県内全市町・広島県医師会・
広島大学が協働し、広島県の地域医療の確保等のため、平成23年7月に
設置された公的団体です。

わたしたちは、広島県内の地域医療の確保に向けて、医師の地域偏在解
消のための配置調整や医師確保、人材育成等に総合的に取り組んでいます。

医師の立場からの助言ができるよう、医師も勤務しており、みなさまのご相談や
ご希望を伺っています。



【 お問い合わせ 】 広島県地域医療支援センター (公益財団法人 広島県地域保健医療推進機構)
〒732-0057 広島市東区二葉の里三丁目2-3 広島県医師会館4階
電話：082-569-6491 FAX：082-569-6492 E-Mail：iryu@hiroshima-hm.or.jp



“人育て”の文化をつないで JA 広島総合病院

編集制作 【民間医局】株式会社メディカル・プリンシプル社
Art Director : 勝又シゲカズ Writer : さくまえり Photographer : 伊東昌信



宮島までおよそ10キロ、潮風を感じます。

田中：代表電話からでも教育研修課の日に案内してくださいましたよね。
宇山：学生時代、砂田さんが見学の時からローテーションは円滑です。
西原：もちろん、研修医によっては希望する科や研修順が変わる先生も。教育研修課が調整してくださっているからローテーションは円滑です。
田中：私も候補のひとつである産婦人科を1年目から回れるので、今から楽しみです。

田中：最近ではメンター制度が始まり、困ったことがあれば、より相談しやすい環境になりました。ロールモデルの医師から話をじっくり聞けるいい機会にもなっています。
宇山：この制度で仲良くなった先生がいるのでありがたいです。
中尾：当初は定員6人だった初期研修医も、今では10人。これからもメンターの特性によって柔軟にサポートしたいですね。
砂田：サポートが柔軟だから、どんな研修医さんがいらっしゃっても、それぞれに合った成長ができる土壌があると言えるのではないのでしょうか。
中尾：まさに。当院の創立記念パーティーは毎年12月に開催されます

田中：「在宅医療の現場を見たい」という声に応えて関連施設を増やしました。
西原：「漢方を勉強しに北海道の専門医を訪ねたい」という声に：本当に北海道へも行くのは最新の変化ですね。
田中：最近ではメンター制度が始まり、困ったことがあれば、より相談しやすい環境になりました。ロールモデルの医師から話をじっくり聞けるいい機会にもなっています。
宇山：この制度で仲良くなった先生がいるのでありがたいです。
中尾：当初は定員6人だった初期研修医も、今では10人。これからもメンターの特性によって柔軟にサポートしたいですね。
砂田：サポートが柔軟だから、どんな研修医さんがいらっしゃっても、それぞれに合った成長ができる土壌があると言えるのではないのでしょうか。
中尾：まさに。当院の創立記念パーティーは毎年12月に開催されます



4月の研修開始時にも同じように記念撮影をする正面玄関。ここから、2年間の研修が始まる。



誰もが成長しやすい土壌が きっとあなたを待っている

今日集まってくださったのは、指導医、研修医、そして研修医のローテートをサポートする教育研修課の事務職員の5名。「どんな研修医が来ても、必ず成長できる！」と評判だというプログラムやサポート体制について話を聞きました。

中尾：今日は研修医を囲んで、当院の研修プログラムを改めて考えてみようと思う。二人は実際に研修をしていて、どう感じている？
宇山：外科、麻酔科、救急科を回りましたが、入職後すぐ受けた2週間のオリエンテーションがとても役立っています。
中尾：研修医がすぐに現場に出て、慌ててしまうことがないように、ICLS蘇生講習会や縫合実習など、オリエンテーションでベースを作ることが当院のプログラムの特徴かな？
田中：2年目になり、1年目の先生を教えることは、復習にもなりました。さらに、救急当直は研修医の1、2年目が二人セットなので、現場でも安心して一緒に処置できます。
西原：救急は研修医主導で診ますから、オリエンテーションで安心してもらえるのは何よりです。
中尾：また、1年目に将来希望して



広島県厚生農業協同組合連合会
広島総合病院

〒738-8503
広島県廿日市市地御前1丁目3-3
TEL: 0829-36-3111 FAX: 0829-36-5573
E-mail: hiro.kensyu@hirokokuren.or.jp

Hospital Director:
藤本 吉範

■病床数: 561床
■指導医: 37名
■初期研修医: 19名



http://www.hirobyo.jp



田中 友理佳 先生
Yurika Tanaka
広島大学卒
初期研修2年目



宇山 拓澄 先生
Takuto Uyama
広島大学卒
初期研修1年目



中尾 正和 先生
Masakazu Nakao
病院長代行
麻酔科主任部長



西原 礼介 先生
Reisuke Nishihara
画像診断部
臨床研修科主任部長



砂田 朋子 さん
Tomoko Sunada
教育研修課 課長



どこよりもフレキシブルに！ 東広島医療センター

研修医の夢や希望に病院が
しなやかに寄り沿うプログラムへ

ここ東広島医療センターは2015年より、各学年7名ずつに増員して募集開始。さらに、2017年にはJR山陽本線の新駅「寺家駅」が完成したことで通勤はもちろん、学生の研修や見学もアクセスは良好に。人気急上昇の秘密は、どうやらほかに類を見ない“フレキシブル”な研修プログラムにあるというので、詳しく聞いてみました。



東広島医療センターは3方向を森に囲まれ、大沢田池には野鳥が集まる自然豊かな地域。広島市内から車で40分と近く、研修や勉強に集中しやすい静かな環境です。

初期研修医の当直は、とにかく安心感あるサポート体制。内科は上級医1名とレジデント1名、外科は上級医1名、そのもとでファーストタッチに当たるのが初期研修医。



産期母子医療センターも開設したばかり。ぜひ協力してほしいです。
雄介：妻が産婦人科を3回も回れたように、研修医同士で回る科を調整しますから、本当に自由度が高かったです。私は後期研修までに志望科以外を満遍なく経験したいと考えていました。新たな興味が湧いても、科の垣根を越えて教えてくださるから、進路を迷ってしまうほど各科の魅力が体験できたと感じています。これ以上ないフレキシブルさだと思います。
高橋：直子先生は進路を決めていたし、雄介先生は取って進路を絞らず多様な経験を積んでいるんですね。お互い、それぞれにやりがいを感じられている？
直子：やはりお産の瞬間は涙なしにはいられません。毎回、感動をいただいています。それなのに、お礼のお手紙までいただいたり。
雄介：私もよくお手紙をいただいて、すべての患者さんに全力で接しなければと思う瞬間です。
高橋：患者さんに対して自信を持って接するためには、勉強の場も応援したいと思っています。
雄介：研修医の声から英語論文の抄読会も始まりましたし、多国籍の患者さんのための英会話クラスも。ネイティブ・スピーカーの授業が院内で受けられるなど環境整備は迅速です。アットホームでありながらも、指導医クラスから後期研修医まで、みんな熱心なのも嬉しいところ。研修医を育てる意気込みを感じます。
直子：国立病院機構の研修会には、旅費・宿泊費などすべて病院負担で行かせていただき、東広島市からも春に研修奨励金(60万円/年)がいただけるので教科書なども思い切つて揃えられました。どんどん充実している印象です。
高橋：学生さんには、見学で雰囲気を感じてもらいたいですね。
直子：学生時代に感じた第一印象は今も変わっていないので、ぜひ一度見に来ていただきたいですね。
雄介：フレキシブルさではどこにも負けないプログラムです。自分の力で組み立てて、なりたいたい医師像を追い求める研修医たちの姿を見ていただけたらと思います。
高橋：鉄は熱いうちに打てと言うように、医師になりたてはどんな形にでもなれます。型にはまらない、なりたいたい医師になれる可能性を一緒に追いかけていきましょう！



独立行政法人国立病院機構
東広島医療センター
〒739-0041 広島県東広島市西条町寺家513
TEL: 082-423-2176 FAX: 082-422-4675
E-mail: murakawa_shin@hiro-hosp.jp

Hospital Director:
勇木 清
■病床数: 435床
■指導医: 27名
■初期研修医: 15名



<http://www.hiro-hosp.jp/>

当直室はもちろん、医局では一人一台電子カルテを設置。取り合うことなくスムーズに記入できる。



高橋：今2年目も後半戦、夫婦ともに頑張ってくれているね。
竹石雄介(以下・雄介)：レジデントの代にもご夫婦で働く先輩がいらっしゃり、僕らも頑張らなければと話しています。
竹石直子(以下・直子)：アットホームな雰囲気だから、夫婦で気持ちよく働けます。
高橋：そろそろ専門を決める頃かな。当院の初期研修を受けてみて、率直な感想を聞かせてほしい。
直子：今、産婦人科を3周目のローテーション中です。初年度の前半・後半と回らせていただき、今年度もお願いしました。志望する科を3回も回れるなんて！じっくり選べましたし、後期研修にスムーズに入るので、この選択性が高いプログラムに満足しています。
高橋：当院は2012年から地域周

高橋 忠照 先生
Tadateru Takahashi
臨床研修プログラム責任者
副院長

竹石 雄介 先生
Yusuke Takeishi
広島大学卒業
初期研修2年目

竹石 直子 先生
Naoko Takeishi
広島大学卒業
初期研修2年目